



# ふれあいの まちづくり 新聞

発行：社会福祉法人 **ゆめはーと**  
Yume Heart  
 西東京市社会福祉協議会  
 ふれあいのまちづくり推進委員会

事務局：西東京市中町 1 - 6 - 8  
 保谷東分庁舎内  
 TEL 042-438-3771  
 FAX 042-438-3772  
<http://www.furemachi.jp/>



福しんごう  
西東京市社会福祉協議会キャプチャー

第42号

★★★★★ ★★★★★  
 ★★★★★ ★★★★★

西東京市社会福祉協議会がすすめる「ふれあいのまちづくり」(ふれまち)とは…西東京のまちをより住みやすくするための、小学校通学区を中心とした住民参加型のまちづくり活動です。



## あけましておめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災が起き、多くの方が

被害に遭われました。そして地域のつながりの必要性が再認識された年でもありました。今年こそはおだやかな年であることを願い、また地域のつながりが、より広がることを願いながら、この『ふれあいのまちづくり新聞』も地域のお話を届けようと思います。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

# 「ふれまちサポーターで活動者増へ！」

## 「ふれあいのまちづくり住民懇談会代表者会」開催

12月22日(木)、田無総合福祉センターにおいて、「ふれまち住民懇談会代表者会」を開催しました。今回のテーマは「ふれまちサポーター(愛称：ふれサポ)を増やすには…」です。ふれまちサポーターとは、住民懇談会の世話人を増やすための新たな取り組みで、その役割は、自分の住むまちで気になる人や気になる事などがあれば住民懇談会の世話人に伝えたり、住民懇談会の行う地域活動や行事に協力したりする人としています。これまでも、多くの方々に住民懇談会の活動に対して様々な協力をいただいているところですが、そうした状況でも、「世話人が増えない」という悩みはなかなか解消されません。



住民懇談会の世話人を増やすためには、まずは多くの方々に住民懇談会について知ってもらい、住民懇談会活動に参加してみたい、協力してみたいと思ってもらえるような環境づくりが大切になります。代表者会の参加者からは、「各住民懇談会の現状や、まだ参加していない方、新しく住み始めた方、若い方々への関わり方について、住民懇談会としても考えて行かなければならない。」「新しく協力してくれる方が増えてくれるというのはうれしい。」等、様々なご意見をいただきました。2月の世話人連絡会でも、この話題は引き続き話をしていきたいと思えます。



東日本大震災以降、多くの方々が「地域のつながりは必要」だと考えていますが、一方では「何をしてもよいかかわからない」という方も多いのではないでしょうか。ふれあいのまちづくりでは、皆さまのお住まいの地域で、「こころのふれあうまち」、「お互いに助け合うまち」、「安心して暮らせるまち」を目指して、住民自らが地域の特性を活かした地域活動に取り組んでいます。まずはお気軽にお問い合わせください。



# 第7回新春わくわく寄席開催

毎年恒例となりました、「新春わくわく寄席」を開催します。より良き1年にするためにも是非笑い初めをどうぞ!! また、先着70名さまに、青嵐中学校茶道部の皆さまよりお抹茶とお菓子のお手前があります。お友達、ご近所、同僚の方等々おさそい合わせのうえ、ご来場ください。

日時：平成24年1月22日(日) 開場 12時～ 開演 13時～  
出演：柳家はん治 入場料：無料  
会場：保谷苑デイサービスセンター (西東京市栄町3-6-2 TEL042-423-5002)  
主催：都心会保谷苑、栄小学校通学区ふれあいのまちづくり住民懇談会  
協力：青嵐中学校茶道部・フレンドシップ部、保谷高校生徒会  
後援：西東京市社会福祉協議会



## ☆☆教えて!あなたの自治会☆☆

### 団地の中のふれあいサロン・・・西原団地自治会『さくら団亭(だんてい)』

今回の自治会情報は、西原団地自治会のさくら団亭をご紹介します。

西東京市の西原町にある48年の歴史をもつ西原団地。F-1号棟の元管理人室の部屋を改装して昨年3月20日にオープンしたのが、サロン『さくら団亭(だんてい)』です。

団地に住まわれるご高齢の方々に、自分の部屋で一人寂しく暮らして欲しくない・・・自治会役員のそんな思いから、このサロンは生まれました。

F-1号棟の隅にある看板の横から緩やかなスロープを登り、建物の奥に回るとそこが入り口です。中はとても明るく、取材にうかがった際にはクリスマス用の飾りも飾られているなど、明るく楽しい雰囲気になっていました。

スタート当初は来る人もまばらだったそうですが、利用した方同士が互いに声を掛け合い、次第に人も増え、今では多いときには15～16人ものご利用があるとの事でした。一人暮らしで、自宅では喋る機会が殆ど無いという方も、同年代の人が集うこのサロンに来ると、話に花が咲きます。単にお茶を飲んでおしゃべりをするだけではなく、体操やランチなど月一回開かれる企画会議で生まれた様々なプログラムもあり、内容も盛りだくさんです。皆様是非一度、足を運んでみて下さい。

取材を快く受けていただいた西原団地自治会長の林さん、役員の川崎さん、お忙しい中、ありがとうございました。

↓「さくら団亭」の様子



↓「さくら団亭」内の掲示板。絵手紙や作品、それに案内等が貼ってあります。



### コミュニティーサロン「さくら団亭」

開亭日 毎週 火、水、金、土 14:00～16:00

(月により変動あり。詳細はサロンにおいてあるチラシをご覧ください。)

利用料金 コーヒー1杯(お菓子付き)100円(西原団地にお住まいの方は50円)

# ほっとネット推進員 登録講座を出前します!



登録すると、  
グリーン  
リングを差し  
上げます♪

西東京市の「第2期西東京市地域福祉計画」では、市全体で地域福祉を推進するよう、「ほっとするまちネットワークシステム(略称:ほっとネット)」を構築し、地域の力で地域の課題を解決するしくみづくりを目指しています。今回このしくみに必要な「地域の課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方」=「ほっとネット推進員」を募集することになりました。

昨年まで市内全域を対象に登録講座を開催し、**現在82人の方が推進員**として登録してくださっています(平成23年11月末現在)。昨年からは、この登録のための研修を「**出前講座**」としても行っております。

「住みよいまちづくりのために、何かできることがあれば!」と考えている団体のみなさん、町会や自治会の方々、趣味のサークルやクラブ活動をされているみなさん、ぜひ「**ほっとネット推進員出前講座**」をご利用いただき、推進員として登録をしてくださいませんか。**地域福祉コーディネーター**と共に、「住みよいまちづくり」にご協力ください。ご連絡をお待ちしております。

■講座の内容:約40分の講座です(ご都合に合わせて時間の変更も可能です)。

■申込み方法:お電話でお問い合わせください。

■連絡先:ほっとネットステーション <☎042-497-4158> 担当:利光(としみつ)

## 天然ママのやってみて具う~



.....「ミルクくずもち」.....

今回は、簡単にできるおやつです。おもちのような食感でほんのりミルク味。黒砂糖やきなこをかけたり、お汁粉にいれたりすると美味しいです。

### ~作り方~

#### 材料 (2人分)

- 牛乳・・・200cc
- スキムミルク・・・大1
- 砂糖・・・大1.5
- はちみつ・・・小1
- 片栗粉・・・大1.5
- 上新粉・・・大3

- ① 材料をすべて小鍋に入れて、良くかきまぜます。
- ② ①をかき混ぜながら中火にかけます。初めは何も変わりませんが、いっせにかたまります。混ざっていないと、片栗粉がだまになるので、ひたすらかき混ぜます。
- ③ かたまったら、耐熱容器に入れラップをしてレンジで3分。
- ④ あら熱がとれたら、スプーンに水をつけながら一口大にして、出来上がりです。(温かい時はべたべたして、くっついてしまいそうですが、冷めてくると離れるのでご心配なく。)水にぬらしたバットに平らにのぼし、冷めてから切っても良いです。

※ 冷めても固くならないので美味しいですが、私はほんのり温かい位が好きです。冷めてしまったらレンジで温めも大丈夫です。

# 地域の活動拠点「ホットほとサロン」

## おはなしサロン(しらうめ)開催のお知らせ…東日本大震災、被災地から学ぶ ～震災について考えてみませんか?～

首都圏でも30年以内にM7クラスの大地震が予測されています。皆さんが東日本大震災時に感じたことや、震災以降に我が身を守るために必要と考えていることなど、被災地での支援に関わった社会福祉協議会職員を交えてお話しませんか?ご参加をお待ちしております。

※会場の都合上事前の参加申込が必要です。定員6名(申込先着順)です。

日時:平成24年2月1日(水)13:30~/2月6日(月)13:30~

※両日とも同内容です。ご都合の良い日にご参加ください。

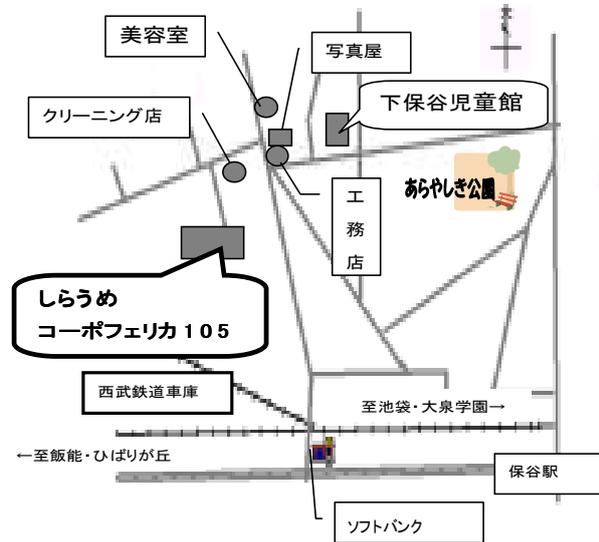
場所:活動拠点しらうめ

西東京市下保谷5-13-19 コーポフェリカ105号

★受付期間;平成24年1月25日(水)まで。

申込・問合せ:☎042(438)3771

地域福祉推進係 地域活動拠点担当



### 西原町2丁目、3丁目住所区のみなさまの対象住民懇談会の変更について

この度、東日本大震災を通して、日頃のつながりの大切さを改めて感じ、西原町2、3丁目にお住まいの皆さま対象住民懇談会を、より生活圏に近い区割りへと変更させていただくことになりました。

	新 住民懇談会 (主な活動場所と対象住所地)	旧 住民懇談会 (主な活動場所と対象住所地)
西原町2、3丁目 住所区のみなさま	はくうんぼく(西原総合教育施設) 西原町2~5丁目、緑町2丁目(1,2番)	タワーみつわ(芝久保公民館) 芝久保町4,5丁目、 田無町7丁目(3~14,17,18番)

ふれあいのまちづくり住民懇談会は、日頃のつながりの中で「こころのふれあうまち」、「お互いに助け合うまち」、「安心して暮らせるまち」を目指して活動をしています。市民のみなさまには、変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。



### 連載コラム・・・『家康の逃げ道』

※このコーナーでは、ふれあいのまちづくりに関わっていらっしゃる方の作品を掲載いたします。記念すべき第一弾は、ファミリーたなしの安藤隆夫さん作「家康の逃げ道」です。

群馬県の赤城山中腹から東京に引越してもう半世紀が過ぎる。その間、埼玉に仕事を持っていたため地元の田無についてほとんど関心が無かった。

司馬遼太郎著の「街道を行く」を読んでいる。司馬遼太郎はさらりとこんな話を挿入する。

「あなたに關東をさしあげよう」と、徳川家康にそう言ったのは、天正十八年(1590年)小田原征伐もそろそろ大詰めという時期における豊臣秀吉であった。

石垣山、一名笠懸山、標高二四一メートル、頂上に登ると、小田原城が良く見える。

その山頂へ家康をとめない、「大納言家康どのこれへ候へ」と、崖っぷちにつき、小田原城を見下ろしながら小便をした。『落穂集』によると、そのときの秀吉の台詞は、「破れ家のつれ小便と申し候」というものである。小便をしながら、関八州はあなたに差し上げるといったらしい。

秀吉は、力をつけてきた家康を箱根から東に追いやった。關東を支配してきた小田原の後北条氏が、秀吉の大群に滅ぼされ、八王子の支城も上杉景勝や前田利家勢の猛攻にあつて落城。代わって關東を領有した徳川家康は、關が原の合戦で石田三成らの西軍に勝利してのち、征夷大將軍となつて、江戸幕府を開設したのはご承知の通りである(次号へ続く)。

「ふれあいのまちづくり」のお問い合わせは…地域福祉推進係【電話042-438-3771】まで。あなたの地域での活動に興味のある方はお気軽にご連絡ください。